

ポーランド政治クロノロジー(2011年11月)

月	内政	外交
11月	<p>2日 「法と正義」(PiS) 政務委員会開催, ジョブロ欧州議員(PiS 副党首)の党内改革発言について審議。</p> <p>3日 コモロフスキ大統領, 地方自治制度の改正法案を提出する意向を表明。</p> <p>3日 パブラク副首相兼農民党(PSL) 党首, PSL の現 3 閣僚を続投させる意向を表明。</p> <p>4日 PiS 政務委員会, ジョブロ欧州議員, チマンスキ欧州議員, クルスキ欧州議員 3名の党除名処分を決定。</p> <p>7日 PiS から除名処分を受けたジョブロ欧州議員ら, 下院議員 16名と上院議員 1名と共に議員クラブ「連帯ポーランド」発足。</p> <p>8日 総選挙後の最初の下院本会議召集。</p> <p>8日 コパチ前保健相が新下院議長に選出。</p> <p>8日 トゥスク首内閣, 総辞職。コモロフスキ大統領がトゥスク市民プラットフォーム(PO) 党首を首相に指名。</p> <p>8日 下院副議長に, グラバルチク前インフラ相, クフチンスキ PiS 議員, グジェシュチャク PSL 議員, ヴェンデルリフ民主左翼連合(SLD) 議員, ノヴィツカ「パリコト運動」(RP) 議員が選出。</p> <p>8日 ボルセヴィチ上院議長が上院議長に再任。</p> <p>8日 PO 新院内総務(議員会長)にグルピンスキ議員が選出。</p> <p>8日 PSL 幹部会, PO との連立継続を了承。</p> <p>8日 PiS, 下院に経済・社会関連法案パッケージを提出すると発表。</p> <p>8日 PiS, 下院本会議場の十字架撤去に反対する動議を下院に提出。</p> <p>8日 最高裁判所, バルスキ PiS 議員とシフィエンチコフスキ PiS 議員の検察との兼職を認めず, 議員資格剥奪は妥当と判決。</p> <p>10日 トゥスク首相とパブラク副首相会談。連立政権維持及び両党の大臣ポスト配分の維持を確認。</p> <p>11日 ワルシャワにおける, 独立記念日のパレードで, 一部右派グループと警官が衝突し, 暴徒化(約 210 人拘束)。</p> <p>14日 PiS, シェールガス採掘に関する法案を下院に提出。</p> <p>14日 PiS 政務委員会, 議員クラブ「連帯ポーランド」の 17 名の下院議員と 1 名の上院議員の党除名処分を決定。</p> <p>15日 パブラク副首相兼 PSL 党首, 2007 年に締結した PO との連立合意は現在も有効で, 新たな合意の締結はないと発言。</p> <p>17日 トゥスク首相, コモロフスキ大統領に新内閣の構成を提</p>	<p>1日 シコルスキ外相, 訪英(-2日)。</p> <p>2日 シコルスキ外相, トルコ及びアフガニスタン外務省が共催するアフガニスタンのための地域協力会議に出席(於: イスタンブール)。</p> <p>2日 ステルマフ外務次官及びヴァレンチャク 国有財産次官, UAE 訪問。</p> <p>4日 フリック・リヒテンシュタイン外相兼法相, ポーランド訪問。</p> <p>4日 シコルスキ外相, V4+ スロヴェニア, 西バルカン諸国外相会合に出席(於: プラハ)。</p> <p>4日 ナヴラチチ・ハンガリー副首相兼内相兼法相, ポーランド訪問。</p> <p>4日 シェモニャク国防相, ミレル内務・行政相, チェニューフ参謀総長等, コソボ訪問。</p> <p>6日 ステルマフ外務次官及びバニャク経済次官, 訪印(-9日)。</p> <p>7日 ポーランド及びセルビア内相, 組織犯罪との戦いのための協力協定に署名。</p> <p>7日 シェモニャク国防相, 予算削減と省内の効率性向上のためのプログラムを開始。</p> <p>8日 シコルスキ外相及びヴェスターヴェレ独外相, アシュトン EU 外交・安全保障政策上級代表宛に EU・露関係に関して提言する書簡を發出。</p> <p>8日 コモロフスキ大統領, 2013年から2022年におけるポーランド軍整備指針(ガイドライン)を発表。</p> <p>9日 イルヴェス・エストニア大統領, ポーランド訪問(-10日)。</p> <p>11日 グリボウスカイト・リトアニア大統領, ポーランド独立記念日式典に出席。</p> <p>11日 ストーレ・ノルウェー外相, ポーランド訪問。</p> <p>14日 シコルスキ外相, EU 外務理事会・総務理事会に出席(-15日, 於: ブリュッセル)。</p> <p>14日 シコルスキ外相, EU・ウズベキスタン協力委員会を主催(於: ブリュッセル)。</p>

<p>示,その後,記者会見にて新内閣の構成を発表。</p> <p>17日 下院,国家法廷構成員を選出。</p> <p>17日 上下両院,各委員会の委員長を選出。下院外交委員長にはスヘティナ前下院議長,下院財務委員長にはロサティ元外相が就任。</p> <p>18日 コモロフスキ大統領,新内閣を任命。</p> <p>18日 トゥスク首相,施政方針演説(於:下院)。</p> <p>18日 PiS,ジョブロ欧州議員ら 3 議員及び議員クラブ「連帯ポーランド」に属する議員らの党除名処分を正式に決定。</p> <p>19日 下院,内閣信任投票。賛成 234 票,反対 211 票で信任。</p> <p>21日 内務行政省を内務省と行政・デジタル省に分割。</p> <p>21日 コパチ下院議長,下院議場内の十字架の設置にかかる調査を院内に指示。</p> <p>21日 労組「連帯」,トゥスク首相施政方針演説における年金支給年齢引き上げ案を批判。</p> <p>22日 政府,予算関連法案を採択(ガソリン税,タバコ税の引き上げ)。</p> <p>24日 コモロフスキ大統領,集会法改正案を議会に提出。</p> <p>24日 スミラシ国民教育相,義務教育開始年齢を6歳からとする法律を2014年から導入すると発言。</p> <p>25日 カチンスキ PiS 党首,死刑制度の見直しを含め刑罰の厳罰化を主張。</p> <p>25日 ムハ・スポーツ相,ポーランド・サッカー連盟の汚職疑惑を検察に通知。</p> <p>26日 PiS 政務理事会開催。カミンスキ議員(元中央汚職対策局長官)が副党首に選出。</p> <p>26日 「連帯ポーランド」集会開催。</p> <p>28日 ロストフスキ財務相,2012 年国家予算法案を経済成長率 2.5%の試算で提出すると発表。</p> <p>29日 世論調査(財務省実施)によれば,ユーロ加入支持が 29%(前回比で 9%減),反対が 53%(6%増)。</p> <p>29日 PiS,シコルスキ外相の「ベルリン演説」に関し,同外相を国家法廷に召喚すべきと批判。</p> <p>30日 コモロフスキ大統領,シコルスキ外相の「ベルリン演説」について,重要であるが,国内で内容につき十分協議する必要があると発言。</p> <p>30日 ポーランド・サッカー連盟,汚職疑惑をめぐり,クレチナ事務局長を解任。</p>	<p>15日 ポーランド・独・ウクライナ大統領会合(於:ヴロツワフ)。</p> <p>15日 ポーランド,NATO 協同サイバー防衛センターの加盟書に署名(於:米ノーフォーク)。</p> <p>16日 NATO変革連合軍最高司令官アブリアル仏空軍大將がポーランドを訪問。</p> <p>18日 チュニジアの NGO 活動家 35 名,外務省の招待によりポーランドを訪問(-25 日)。</p> <p>18日 コモロフスキ大統領,EUFOR ALTEA ミッション(ボスニア・ヘルツェゴビナ)へのポーランド部隊派遣期間の 2012 年 11 月 18 日までの延長を決定。</p> <p>21日 シェモニャク国防相,計画されていた海軍フリーゲート艦 2 隻の改修の取り止めを発表。</p> <p>22日 国防省,軍装備品の整備計画に関する会議開催。</p> <p>23日 シコルスキ外相及びビルト瑞外相,アフメトフ「シャフタル・ドネットク・サッカー・クラブ」会長の招待により,ウクライナ訪問。</p> <p>24日 外務省,ベラルーシの人権活動家ピアラツキ氏に有罪判決が下ったことを受け,非難声明を発表。</p> <p>24日 コジェイ国家安全保障局長官,トルコ訪問。</p> <p>25日 ドヴギェレヴィチ外務副大臣,EU・アルメニア及び EU・アゼルバイジャン協力委員会を司会。</p> <p>25日 ポーランド・リトアニア教育専門家最終会合。</p> <p>28日 コモロフスキ大統領,ウクライナ訪問</p> <p>28日 シコルスキ外相,独訪問(-29 日)。「ポーランド及びEUの将来」と題して演説(「ベルリン演説」)。</p> <p>28日 第3回東方パートナーシップ市民社会フォーラム(-29 日,於:ポズナン)。</p> <p>30日 欧州防衛庁運営委員会及び EU 国防相会合開催(於:ブリュッセル)。</p>
--	---